区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（11月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所３階）、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団

地域力向上の取り組みと各種イベントのさらなる成果を

第二期青木区政の成果

問 **駅周辺の街づくりをはじめ、各地域の街づくりについては、現時点で成果をどのように捉えているか伺う。**

答 街の利便性が高まり、良質な住環境が形成されるなど、さまざまな施策の着実な推進による成果だと考える。今後も住みたい、住み続けたいと思える街づくりに積極的に取り組む。

問 **超高齢社会を見据え、地域包括ケアシステムモデル事業における成果と今後の取り組みの方向性を伺う。**

答 医療・介護連携の基盤づくりや、地域住民が自ら担い手となる意識が高まるなどの成果が得られた。これらを生かし、本区の地域特性を生かした地域包括ケアシステムを推進する。

問 **町工場見本市、フードフェスタ、プレミアム付商品券発行助成などさまざまな産業振興策の成果を伺う。**

答 このさまざまな産業振興策は、確実に成果に結び付いている。今後もタイムリーな施策を打ち出しながら、区内産業のさらなる振興を図る。

問 **葛飾納涼花火大会、寅さんサミットなどのイベント、ゆかりのキャラクターを生かした観光づくり事業などの観光施策の成果を伺う。**

答 多くのテレビや新聞等報道にも取り上げられ、認知度の向上やイメージアップ、本区への来訪者増加につなげることができた。

問 **かつしか教育プラン2014に基づく学力・体力向上の取り組みの成果を伺う。**

答 かつしか子学習スタイル、葛飾教師の授業スタンダードに継続的に取り組み、チャレンジ検定にも全校で取り組んだ結果、全国学力・学習状況調査で小学校は上昇傾向にあり、中学校でも昨年度より改善している。体力についても体力テストで小中学校共に体力合計点が上昇傾向にある。

問 **かつしか教育プラン2014に基づく学力・体力向上の取り組みの成果**　など

答 横浜市など同様の課題を抱える自治体を参考に、加入促進策に取り組む。

問 **自治町会の魅力向上の取り組みを行うべきと考えるが、区の見解を伺う。**

答 補助事業の有効な活用方法など、役立つ助言を心がけ、積極的に支援策に取り組み、魅力向上を目指す。

※**他の質問項目**　自治町会の課題

ふるさと葛飾盆まつり

問 **来年度はさまざまな意見を踏まえより多くの方が参加できる開催日を決定すべきと思うが、区の見解を伺う。**

答 関係機関へのヒアリングなども踏まえ、今後実行委員会で慎重に審議し、日程を調整していく。

問 **盆踊りコンテスト参加者の募集方法は地域の意見を聞き、見直すことが必要ではないか、区の見解を伺う。**

答 連合町会の各地区に上限を設定したが、人選に苦労したといった話を伺った。いただいた意見を踏まえ、募集方法も含めて十分に検討する。

※**他の質問項目**　天候急変の中止決定

寅さんサミット

問 **再来年は第1作の公開から50周年の節目の年である。50周年に向けた展望をどのように描いているか、また、**

寅さんサミット

さらなる交流を深めていくためにも3、4年に1回くらいは、映画のロケ地の自治体で開催してはどうか。

答 ロケ地となった自治体で、ミニ寅さんサミットのようなイベントの開催などを検討し、本区および全国のロケ地のPRと活性化に寄与できる方法の実現を目指し、大きな節目となる2019年を盛り上げる。

※**他の質問項目**　昨年の成果と課題　など

障害者施策推進計画

問 **利用計画を作成する相談支援事業所の現状および事業所に対する区の支援について伺う。**

答 利用計画を作成する事業所数は増えているが、相談支援給付費収入のみでは作成数の増加は難しいため、運営費助成制度で作成を促進していく。

問 **地域の相談支援拠点として総合的な相談業務を行う体制を整えるべきと考えるが、区の見解を伺う。**

答 基幹相談支援センターの機能を持つ相談支援体制の整備について、既存の体制の見直しも含めて検討する。

※**他の質問項目**　相談支援専門員および事業所の質の向上への取り組み

大規模水害

問 **大規模水害時の避難方法を伺う。**

答 今後、広域避難推進協議会で洪水ハザードマップと広域避難行動計画を作成する。これらを活用して区民がどの地域へどのように避難すればいいのか理解できるようにして、大規模水害からの逃げ遅れゼロを目指す。

※**他の質問項目**　区民への対策

周辺有事に対する区の対応

問 **ミサイルの注意喚起や警戒啓発について、区ホームページは工夫の余地があると考えるが、区の見解を伺う。**

答 記載内容について、図表等を用いてできるだけ1ページで表現するなどわかりやすい内容となるよう努める。

※**他の質問項目**　ミサイル飛来や着弾の場合の区の対応

日本共産党葛飾区議会議員団

子ども・くらし犠牲　不要な庁舎建て替えは許されない

青木区政の８年の問題点

問 **立石駅北口に区役所を移転させるのにいくらかかるのか問う。**

答 今後、建築物の設計がなされるなど、再開発事業が進捗するに伴い整理されていくものと考える。

問 **現庁舎はまだ使用できる建物にも関わらず、立石駅北口再開発を救済するために強引に進めることは許されない。区民合意もない。計画の撤回を求める。**

葛飾区総合庁舎
築38年の区総合庁舎新館

答 災害対策機能、バリアフリーへの対応等を総合的に検討し、建て替えることが望ましいと判断した。また、北口地区は区民の交通の利便性が最も高い場所として選定した。今後も節目ごとに区民の皆様から意見を伺い、丁寧に検討を進めていく。現時点で計画中止、撤回する考えはない。

問 **学童保育クラブでは、大規模化の解消こそが求められており、学校内に関わらず増設すべきと思うがどうか。**

答 区が定めた、放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例により、保育の質と安全は適切に確保されていると考える。今後も安全な生活の場を提供し保護者が安心して預けられるよう、小学校敷地内を中心に整備を進めていく。

※**他の質問項目**　高齢者施策、国民健康保険等保険料の負担軽減　など

連続立体交差化事業の高架下の活用

問 **四ツ木・青砥駅間の連続立体交差化事業は、平成34年度に完成する予定である。高架下の活用について、京成電鉄と協議して有益なスペースを確保し、また、幅広い区民の意見をくみ尽くして、積極的な活用を図るべきと思うがどうか。**

答 高架下の活用については、地元の皆さんの期待が大きく、さまざまな意見・要望をいただいている。都および京成電鉄には、協議が早期に開始できるように働きかけるとともに、協議の実施に当たっては、地元自治町会や区民の方々の意見を伺いながら進めていきたい。

新小岩公園の高台化

問 **２０１６年４月から６月にかけて、新小岩公園防災高台化整備事業の共同事業者の公募を行ったが応募はなく、実施のめどはいまだ立っていない。その後、再公募について何を検討しているのか。**

答 現在、当初公募の結果を踏まえ、国土交通省と公募要項や特記仕様書の内容を見直しているところである。

問 **応募がなかったことは大きな問題である。区民に真摯に説明をする必要があると思うがどうか。**

答 本事業は区民の生命を守る上で重要な事業である。事業の進め方、新たな公園の整備に当たっては、地域の方々や公園利用者と十分意見交換をしながら進めていく。

※**他の質問項目**　リニア品川駅建設工事の発生残土の利用　など

政策葛飾

児童相談所の早期設置と乳児用液体ミルクの推進を

児童相談所設置に向けての区の考え方及びその取り組み

問 **児童相談所設置までに必要な職員が確保できるのか、職員の人材確保・育成計画の見通しを伺う。**

答 帰宅困難や心理職は、採用などにより計画的に確保・育成を予定している。都の児童相談所における特別区の職員の研修は、特別区の希望どおりの受け入れが困難であり、特別区全体で派遣研修の調整を行うことから、本区の人材の確保・育成をあらためて検討し、設置までのロードマップを整えていく。

問 **区が設置する一時保護所についての検討はどこまで進んでいるのか伺う。**

答 本区では児童相談所に一時保護所を併設する。保護した子どもたちが日常と変わらない生活を送れるよう、施設の基本的な機能・設備などを検討している。一時保護を要する子どもの年齢、性別、理由はさまざまであり、より適切な生活環境を提供できるよう検討を進めていく。

※**他の質問項目**　児童相談所設置スケジュールと場所の検討状況　など

区長が掲げる「協働」の取り組み

問 **区長の掲げる「協働」についてのコンセプトを伺う。**

答 協働は、本区の基本計画の中で計画を推進するための最も重要な礎である。多くの区民の方々や区内産業に携わる皆様と力を合わせ、安全・安心で住みやすい、魅力ある元気のある葛飾にしていくことをコンセプトにして区全体で取り組んでいる。

※**他の質問項目**　区民との「協働」の評価　など

乳児用液体ミルクの推進

WHOが推奨する乳児用液体ミルク

答 災害時には、安全な水や哺乳瓶の確保が困難となるなど乳児の生命への影響がある。安心してスムーズに授乳ができ、WHOも推奨する液体ミルクの備蓄の必要性は明らかである。認可された時点で即座に備蓄を進めるべきと思うが、区の考えを伺う。

答 乳児用液体ミルクの備蓄については、災害時に有用な面も多いが、賞味期限やコスト面に課題がある。安全性が確認され、安定的に製造・販売・流通された段階で研究していく。

※**他の質問項目**　液体ミルクに対する一部助成の仕組みづくり　など

葛飾区議会公明党

地域福祉の推進と地域生活の課題解決の仕組みづくりを

葛飾区版地域包括ケアシステム

問 **本区の地域特性を生かした葛飾区版地域包括ケアシステムの構築に向けた実態調査やモデル事業の進捗状況および成果を伺う。**

答 区内の社会資源の現状や将来設計に関する調査の実施結果を踏まえたモデル事業として、在宅医療介護従事者向け地域資源リストの作成などに取り組み、在宅医療・介護の連携の基盤づくり、認知症対策や介護予防を多様な視点から推進することの有効性、地域住民が担い手となる意識の向上などの成果が得られた。この成果を第７期高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画に取り込み、モデル事業の全区的な展開を図り、一層の在宅医療・介護の連携強化や地域や住民等が主体となる介護予防・生活支援の取り組みに対する支援を進め、本区の地域特性を生かした地域包括ケアシステムを推進する。

問 **葛飾区版地域包括ケアシステムの構築に当たり、区民の力をどのように生かしていくのか。**

答 地域活動の情報収集や区ホームページ等を活用した情報発信の仕組みも検討し、区の補助金等をわかりやすくまとめるなど工夫する。区民の方が今まで以上に地域活動にやりがいや生きがいを持てることが大切な視点であると認識し、取り組んでいく。

問 **「地域を楽しむシニア活動マップ」を日常生活圏域ごとに全区作成してはどうか。**

答 モデル事業実施地区で配布したところ「参考になった」というご意見、他地区からの問い合わせがある。マップを掲載した団体等に掲載後の反響を聞くなど検証を行い、７つの日常生活圏域ごとの効果的なシニア活動マップの作成を検討する。

※**他の質問項目**　高齢者見守りキーホルダーの必要性　など

特別養護老人ホームの整備計画及び運営法人に対する支援

問 **第７期介護保険事業計画を策定するに当たり、特養の需要数をどのように見込み、整備計画を策定するのか。**

答 区では特別養護老人ホームの整備を積極的に促進している。第６期介護保険事業計画策定時点の推計に比べ、要介護度の進行が加速しており、第７期介護保険事業計画では、中期実施計画と同様に２カ所の整備を計画化し、要介護３以上の認定者に対する特養の整備率を維持していく。

問 **既存の特養に併設するショートステイ定員を特養定員へ転用し、施設の効率的な運営を促してはどうか。**

答 ショートステイ定員の特養定員への転用基準のさらなる緩和について、各施設の利用状況の推移を注視しながら検討する必要があると考える。

※**他の質問項目**　大規模改修にかかる支援策　など

成年後見センターのあり方

問 **センター設立後３年が経過したが、この３年間の実績と区の評価を伺う。**

答 年間相談件数は設立前と比較して２倍程度に増加し、毎年開催している市民後見人養成講座の修了生22名のうち４名が後見支援員として法人後見業務の援助活動に従事している。成年後見の総合的な支援機関として

成年後見センター

役割を着実に果たしていると考える。

問 **現体制では、受任する法人後見数に限界がある。先進自治体では、民間団体や専門職などの関係者間のネットワークを活用して受任件数を伸ばしており、本区もこうしたネットワークの必要性があると思うがどうか。**

答 現体制では、さらに法人後見の受任件数を伸ばし、後見支援員の活動人数を増やすのは難しい。法人後見の新規受任件数を伸ばし、市民後見人の育成と活用を推進する上において民間団体や専門職などとのネットワークを構築し、さまざまな連携を図ることが有効な手段であると認識しており、今後協議を進めていく。

※**他の質問項目**　成年後見制度利用促進基本計画の策定

木造住宅密集地域のまちづくり

問 **不燃化特区の不燃領域率70％を見据えた今後の取り組みを伺う。**

答 本区はこれまで密集事業の道路拡幅整備、助成制度や税制優遇の周知など不燃化建て替えの普及啓発に努め地区内の不燃領域率を着実に向上させた。本年４月から新耐震基準の木造住宅への助成を拡大し、現在、助成制度周知のため全戸訪問している。今後とも不燃領域率70％を見据え、より一層の不燃化建て替えを促進しながら地区内の不燃領域率を高め、不燃化特区の災害に強いまちづくりに全力を尽くす。

問 **密集事業エリア内では老朽木造住宅の空き家も多く見受けられる。区内の空き家対策の進捗状況と今後の取り組みについて伺う。**

答 これまで倒壊の恐れのある危険な建物や樹木の繁茂が著しいなど地域住民の生活環境に深刻な影響を与える特定空家を優先して取り組んできた。現在、空家対策計画を策定中で、当該計画を踏まえ、建て替え困難な住宅など将来空き家になりそうな建物の状況を把握した上で関係団体との連携を強化する仕組みを構築し、より効果的な対応策を検討する。

※**他の質問項目**　木造密集地域の大規模火災対策　など

葛飾区議会民進党議員団

時代に即した区政運営と持続可能な地域力を

財政状況

問 **経営改革の取り組みを今後どのように図り、歳入を確保していくのか。**

答 区民サービス向上改革プログラムに基づき経営改革に鋭意取り組んでいる。税・保険料の収納率向上などにより歳入確保を図るとともに民間活用などによる執行体制の見直しなどにより財源確保も積極的に進めている。今後も経営改革の取り組みを推進し、区民サービスの一層の向上とともに財政基盤の強化に努める。

※**他の質問項目**　都区財政調整制度による財源保障

葛飾区基本構想

問 **区民との協働をより一層進めていくべく、区民とともに区の全体構想の見直しを検討するべきではないか。**

答 基本構想は区の将来像を示す大切な理念であり時代の変化を捉えつつ議論を重ねていくべきものと考える。

※**他の質問項目**　基本構想の策定理由

（仮称）葛飾区地域ポイント制度

問 **協働を推し進める環境づくりにおいて、地域ポイント制度の活用が検討されていたが、その進捗状況を伺う。**

答 葛飾みんなの協働サイトで募集したイベントに担い手として参加した場合にポイントを付与する仕組みを検討していたが、既に町会活動で活躍している自治町会の方々などが対象外となるなど解決が難しい課題がある。今後は、葛飾みんなの協働サイトの普及啓発など地域活動に参加しやすい環境を整備していく。

地域限定型SNS

※**他の質問項目**　（仮称）葛飾区地域ポイント制度の具体的な制度設計

自治町会活動

問 **町会自治会加入率と町会への関心度の双方を高めるために地域限定ＳＮＳツールを活用した実証実験をするべきと思うが、区の見解を伺う。**

答 将来に向けて自治町会を維持発展させていくため、若い世代に関心を持ってもらえるよう、情報発信のツールを工夫するなどＰＲを充実させていく。その方策としてＳＮＳを活用した他区の地域限定型交流サイト活用の取り組みなどを参考にして、自治町会との可否を含めて検討する。

※**他の質問項目**　自治町会活動の現状や課題

無所属（※4）

賃金格差解消に率先して努力を　絵本劇場支援は経営改革に矛盾

ワーキングプアをつくらない区政運営

問 **子どもの貧困対策、ワークライフバランス推進のため、区の非正規職員の賃金を上げることを求める。区の考えを伺う。**

答 民間の賃金動向やその職の専門性などを勘案し、賃金の改定を行っている。引き続き業務の内容に応じた適正な賃金水準の確保に努める。

※**他の質問項目**　雇用・所得環境に対する区の認識・判断　など

リリオ亀有リノベーションプロジェクトの絵本劇場と、区の経費削減の考え方

問 **絵本劇場への区の支援は、これまでの「民間でできるものは民間で」という経費削減の考え方に反しているのではないか。区の説明を伺う。**

答 絵本劇場は、民間事業者の企画力や運営ノウハウを生かした読み聞かせなど、子どもたちが楽しみながら学び、体験できる施設を目指している。多くの区民の利用が見込まれ、地域の活性化に寄与できると考えているので、一定の負担をすることとした。

亀有リリオ館７階フロア

※**他の質問項目**　民間でできる事業の判断基準

総合庁舎整備

問 **総合庁舎整備基本構想で最優先候補地とされている立石駅北口地区の、市街地再開発事業の事業費が増加している。総合庁舎整備費用も増加すると考えられるが、区の考えを伺う。**

答 再開発事業費の増加が、そのまま区の保留床購入額の増加につながるとは考えていない。

※**他の質問項目**　事業費試算

区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（11月中旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所３階）、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会公明党

地域福祉の推進と地域生活の課題解決の仕組みづくりを

葛飾区版地域包括ケアシステム

問 **本区の地域特性を生かした葛飾区版地域包括ケアシステムの構築に向けた実態調査やモデル事業の進捗状況および成果を伺う。**

答 区内の社会資源の現状や将来設計に関する調査の実施結果を踏まえたモデル事業として、在宅医療介護従事者向け地域資源リストの作成などに取り組み、在宅医療・介護の連携の基盤づくり、認知症対策や介護予防を多様な視点から推進することの有効性、地域住民が担い手となる意識の向上などの成果が得られた。この成果を第７期高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画に取り込み、モデル事業の全区的な展開を図り、一層の在宅医療・介護の連携強化や地域や住民等が主体となる介護予防・生活支援の取り組みに対する支援を進め、本区の地域特性を生かした地域包括ケアシステムを推進する。

問 **葛飾区版地域包括ケアシステムの構築に当たり、区民の力をどのように生かしていくのか。**

答 地域活動の情報収集や区ホームページ等を活用した情報発信の仕組みも検討し、区の補助金等をわかりやすくまとめるなど工夫する。区民の方が今まで以上に地域活動にやりがいや生きがいを持てることが大切な視点であると認識し、取り組んでいく。

問 **「地域を楽しむシニア活動マップ」を日常生活圏域ごとに全区作成してはどうか。**

答 モデル事業実施地区で配布したところ「参考になった」というご意見、他地区からの問い合わせがある。マップを掲載した団体等に掲載後の反響を聞くなど検証を行い、７つの日常生活圏域ごとの効果的なシニア活動マップの作成を検討する。

※**他の質問項目**　高齢者見守りキーホルダーの必要性　など

特別養護老人ホームの整備計画及び運営法人に対する支援

問 **第７期介護保険事業計画を策定するに当たり、特養の需要数をどのように見込み、整備計画を策定するのか。**

答 区では特別養護老人ホームの整備を積極的に促進している。第６期介護保険事業計画策定時点の推計に比べ、要介護度の進行が加速しており、第７期介護保険事業計画では、中期実施計画と同様に２カ所の整備を計画化し、要介護３以上の認定者に対する特養の整備率を維持していく。

問 **既存の特養に併設するショートステイ定員を特養定員へ転用し、施設の効率的な運営を促してはどうか。**

答 ショートステイ定員の特養定員への転用基準のさらなる緩和について、各施設の利用状況の推移を注視しながら検討する必要があると考える。

※**他の質問項目**　大規模改修にかかる支援策　など

成年後見センターのあり方

問 **センター設立後３年が経過したが、この３年間の実績と区の評価を伺う。**

答 年間相談件数は設立前と比較して２倍程度に増加し、毎年開催している市民後見人養成講座の修了生22名のうち４名が後見支援員として法人後見業務の援助活動に従事している。成年後見の総合的な支援機関として役割を着実に果たしていると考える。

問 **現体制では、受任する法人後見数に限界がある。先進自治体では、民間団体や専門職などの関係者間のネットワークを活用して受任件数を伸ばしており、本区もこうしたネットワークの必要性があると思うがどうか。**

答 現体制では、さらに法人後見の受任件数を伸ばし、後見支援員の活動人数を増やすのは難しい。法人後見の新規受任件数を伸ばし、市民後見人の育成と活用を推進する上において民間団体や専門職などとのネットワークを構築し、さまざまな連携を図ることが有効な手段であると認識しており、今後協議を進めていく。

※**他の質問項目**　成年後見制度利用促進基本計画の策定

木造住宅密集地域のまちづくり

問 **不燃化特区の不燃領域率70％を見据えた今後の取り組みを伺う。**

答 本区はこれまで密集事業の道路拡幅整備、助成制度や税制優遇の周知など不燃化建て替えの普及啓発に努め地区内の不燃領域率を着実に向上させた。本年４月から新耐震基準の木造住宅への助成を拡大し、現在、助成制度周知のため全戸訪問している。今後とも不燃領域率70％を見据え、より一層の不燃化建て替えを促進しながら地区内の不燃領域率を高め、不燃化特区の災害に強いまちづくりに全力を尽くす。

問 **密集事業エリア内では老朽木造住宅の空き家も多く見受けられる。区内の空き家対策の進捗状況と今後の取り組みについて伺う。**

答 これまで倒壊の恐れのある危険な建物や樹木の繁茂が著しいなど地域住民の生活環境に深刻な影響を与える特定空家を優先して取り組んできた。現在、空家対策計画を策定中で、当該計画を踏まえ、建て替え困難な住宅など将来空き家になりそうな建物の状況を把握した上で関係団体との連携を強化する仕組みを構築し、より効果的な対応策を検討する。

※**他の質問項目**　木造密集地域の大規模火災対策　など

葛飾区議会民進党議員団

時代に即した区政運営と持続可能な地域力を

財政状況

問 **経営改革の取り組みを今後どのように図り、歳入を確保していくのか。**

答 区民サービス向上改革プログラムに基づき経営改革に鋭意取り組んでいる。税・保険料の収納率向上などにより歳入確保を図るとともに民間活用などによる執行体制の見直しなどにより財源確保も積極的に進めている。今後も経営改革の取り組みを推進し、区民サービスの一層の向上とともに財政基盤の強化に努める。

※**他の質問項目**　都区財政調整制度による財源保障

葛飾区基本構想

問 **区民との協働をより一層進めていくべく、区民とともに区の全体構想の見直しを検討するべきではないか。**

答 基本構想は区の将来像を示す大切な理念であり時代の変化を捉えつつ議論を重ねていくべきものと考える。

※**他の質問項目**　基本構想の策定理由

（仮称）葛飾区地域ポイント制度

問 **協働を推し進める環境づくりにおいて、地域ポイント制度の活用が検討されていたが、その進捗状況を伺う。**

答 葛飾みんなの協働サイトで募集したイベントに担い手として参加した場合にポイントを付与する仕組みを検討していたが、既に町会活動で活躍している自治町会の方々などが対象外となるなど解決が難しい課題がある。今後は、葛飾みんなの協働サイトの普及啓発など地域活動に参加しやすい環境を整備していく。

地域限定型SNS

※**他の質問項目**　（仮称）葛飾区地域ポイント制度の具体的な制度設計

自治町会活動

問 **町会自治会加入率と町会への関心度の双方を高めるために地域限定ＳＮＳツールを活用した実証実験をするべきと思うが、区の見解を伺う。**

答 将来に向けて自治町会を維持発展させていくため、若い世代に関心を持ってもらえるよう、情報発信のツールを工夫するなどＰＲを充実させていく。その方策としてＳＮＳを活用した他区の地域限定型交流サイト活用の取り組みなどを参考にして、自治町会との可否を含めて検討する。

※**他の質問項目**　自治町会活動の現状や課題

無所属（※4）

賃金格差解消に率先して努力を　絵本劇場支援は経営改革に矛盾

ワーキングプアをつくらない区政運営

問 **子どもの貧困対策、ワークライフバランス推進のため、区の非正規職員の賃金を上げることを求める。区の考えを伺う。**

答 民間の賃金動向やその職の専門性などを勘案し、賃金の改定を行っている。引き続き業務の内容に応じた適正な賃金水準の確保に努める。

※**他の質問項目**　雇用・所得環境に対する区の認識・判断　など

リリオ亀有リノベーションプロジェクトの絵本劇場と、区の経費削減の考え方

問 **絵本劇場への区の支援は、これまでの「民間でできるものは民間で」という経費削減の考え方に反しているのではないか。区の説明を伺う。**

答 絵本劇場は、民間事業者の企画力や運営ノウハウを生かした読み聞かせなど、子どもたちが楽しみながら学び、体験できる施設を目指している。多くの区民の利用が見込まれ、地域の活性化に寄与できると考えているので、一定の負担をすることとした。

亀有リリオ館７階フロア

※**他の質問項目**　民間でできる事業の判断基準

総合庁舎整備

問 **総合庁舎整備基本構想で最優先候補地とされている立石駅北口地区の、市街地再開発事業の事業費が増加している。総合庁舎整備費用も増加すると考えられるが、区の考えを伺う。**

答 再開発事業費の増加が、そのまま区の保留床購入額の増加につながるとは考えていない。

※**他の質問項目**　事業費試算